

質疑並びに一般質問

9月定例会では6日間にわたり、市の課題や将来の展望・計画、市政運営がしっかり行われているのかなど、市長などに対して22人の議員が質問しました。ここでは、その一部をお知らせします。

※この記事は各議員が要約して執筆しています。

柏清風

すけがわ ただひろ
助川 忠弘

柏市独自の児童相談所の設置

Q児童相談所について一日も早い設置を求めますが、現在の取り組み状況は。

A29年度より県への職員派遣や先進市の研究を行うなど設置に向けて取り組んできた。子供の命を守る上で必要かつ意義あるものと捉え、常に必要な支援に結びつけられる環境の整備や連携ができるよう、今後も調査検討していく。

田中地域の小学校新設の必要性

Q田中地域の小学校新設の必要性についてどう考えているか。

A柏北部の区画整理事業に伴い、人口が急激に増加しており、適切な教育環境を確保することが現在の状況では難しいため、小学校を新設する判断に至った。

Q学校の新設により、常に課題となるのが通学区域の問題である。現在の町会や自治会を分断するような割り方をしないよう慎重に誠意ある対応を求めますがどうか。

A地域の方々と合意形成を図れるよう、慎重かつ丁寧に進めることは何よりも重要と考えている。地域からも個別に意見を聞き、対応していく。

体験型スポーツ拠点としての道の駅整備

Q道の駅の拡張に伴い、ランニングや自転車、カヌーやヨット等の水上スポーツの拠点整備や、ペタンク³やスラックライン等、気軽にスポーツが行えるエリアの指定、設置をすべきだが、どうか。

Aさまざまな人に利用してもらい、魅力ある道の駅とするためにも、施設内や周辺地域との連携の中で状況を整理し、多様なニーズに対応した柏らしい道の駅となるよう取り組んでいく。

柏市中央体育館へのエアコンの設置

Q近年の猛暑の中、閉め切った体育館で運動を行うことは熱中症のおそれもあり、大変危険だ。また、災害時の避難場所と

もなる場所である。中央体育館へのエアコンの導入を強く要望するがどうか。

A全体的に老朽化が進んでいる状況から、改修工事を計画している。御提案の空調設備についても利用者に快適な環境を提供し、災害時は避難場所としての機能を果たすため、空調設備を設置していく。

Q空調設備について、設置できるならば、我々柏清風が提案してきた輻射式空調設備を導入することが財政面、維持費、省エネ環境、市民利用料負担軽減の面からも効果的と考えるがどうか。

A議員提案の輻射式を導入している体育館の視察も行ってきた。結果、利用者にとって快適な環境を最優先に考え、空調設備を設置していく。その際は、財政面、環境面、機能面でも優れている輻射式空調設備の採用を検討していく。

パリ五輪を見据えたペタンクの推進

Q千葉県で柏を会場として行われたペタンクが2024年パリ五輪で採用される可能性がある。改めて練習場所の整備やPRを進めていくべきと考えるがどうか。

A日本での普及はまだまだだが、パリ五輪で競技種目になる可能性があると言われている。市民のスポーツ実施率を高める面からも、ペタンク協会と連携した普及啓発を検討していく。



ペタンク競技の様子

中北小学校を移転新築とするかどうかについては、田中地域における児童数推計と個々の学校の教育環境に配慮しつつ、市長部局とも連携の上、慎重に検討を進めていく。

Q新設小学校の通学区域はどのエリアとするか。新設小学校の整備により田中北小の児童数は大幅に減少することが見込まれる。長期的視野に立ち、田中小、田中北小、新設小の3校体制を維持するのか、2校体制にするのか、判断が必要と考えるが、いかがか。

A通学区域の設定に当たっては、地域の方々とできる限り合意形成を図ることが



(仮称) 柏北部東地区新設小学校の予定地

何よりも重要と考えており、現在地域と学校関係の方々から御意見を聞いている。最終的には、柏市通学区域審議会^{知+}に諮問し御審議いただくが、できる限り地域の御意見に寄り添い、合意形成を図りながら進めていく。

柏の葉コミュニティエリア計画について

Q田中コミュニティエリアを分割して新たなエリアを設置したいという方針だが、田中エリアは歴史があり、地域の結びつきも強く、地元住民には愛着があり、郷土愛がある。地元住民の意見を尊重し、慎重に対応していただきたい。また、5年後をめどに意見をまとめ、結論を出したいとのことだが、町会にて田中エリアに残りたいという要望があった場合は、そのまま残れるのか。

Aやはり地元の方から残りたいという意見がある。5年後に必ずエリア分けすることではなく、今後の都市の開発や地域の皆様の意見などを十分見ながら判断していく。

柏清風

むらこし まこと
村越 誠

柏市総合計画（基本構想・前期基本計画）について

Qこれからの将来都市像を見つめて、市全体として今後のまちづくりを課題として取り組んでいくことは大変重要である。進捗状況はどうなっているのか。

A今後も将来都市像の実現に向け、引き続き施策を着実に推進していく。

Q新市建設計画^{知+}の現在の状況や今年度の予定工事は。

A平成31年3月時点で延べ延長ベースで約82%、1万4,890mが整備済みで、戸張交差点工事の用地交渉を実施中である。その他2カ所の整備工事を予定しており、南部クリーンセンター周辺の道路等も計画的に整備を進めている。

Q泉入口バス停付近から藤ヶ谷方面への新設道路整備については。

A今後周辺地域の交通量等の現状や新規道路の必要性、効果等を検証した上で実現の可能性を検討する。

Q食と農の総合戦略の展開、手賀沼アグリビジネスパーク事業について、手賀曙橋、手賀沼フィッシングセンターや手賀の丘公園等の活用の余地がある。この付近一帯を体験型パークとすれば、道の駅



手賀の丘公園(どんぐりの家)

に続く一大拠点になる。人が訪れ、雇用も生まれるが、いかがか。

A農地の収穫体験が行われている。手賀沼フィッシングセンターをさまざまな体験ができるアクティビティ拠点として手賀沼東部地域における水辺の拠点として整備を進める。拠点の活性化・連携により、地域のにぎわいを創出する中で農産物販売の促進、ブランドの確立、食と農の体験エリアとして農業振興・地域振興につながるような事業を進める。

Qバス交通等の利便性の向上は、必要とされている。現在運行されている交通手段の検証や改善はどのようにしていくのか。商業施設・病院等の拠点と地域を結ぶ移動交通時間は30分程度が望ましいが、いかがか。

A現在の利用状況や地域の需要の分析などを行い、コミュニティ交通^{知+}の導入を検討する。

Q快適に暮らしやすい住環境の整備として、未利用地の活用推進の優良田園住宅の現状はどうなっているのか。

A平成25年に自然環境を保全しながら一定の条件を満たせば一団の戸建て住宅開発を認める優良田園住宅制度^{知+}を導入した。具体的な事業は、事業者側の都合で進展していない状況である。

Q市民環境について、東部ゾーンの道路及び歩道と不法投棄の現状は。

A道路の維持管理は道路管理者が実施する。道路交通等に影響を与え、危険が伴う事案は、緊急の対応を含めた最善の対応を行っている。不法投棄により生活環境が悪化することがないように監視パトロールに努める。

柏清風

さくらだ しんたろう
桜田 慎太郎

柏北部東地区新設小学校の整備について

Qこれまでに関係町会、自治会及び田中小、田中北小PTAに個別に新設小学校の通学区域等について概要を説明し、意見を聴取したと伺っているが、地域や学校PTAからはどのような意見があったのか。

A大きく区分すると4点ある。1点目として、新設小学校の整備により、早々に小規模校化が見込まれる田中北小学校の教育環境を維持するためにも、新設小学校については田中北小学校の移転新築とし、校名や校歌、校章など、田中北小学校で築き上げられてきた伝統などを新設小学校へ継承してほしいというもの。2

点目として、通学区域の設定に当たっては、町会、自治会や子供会などの地域コミュニティが分断されないように配慮してほしいというもの。3点目として、田中北小学校の移転新築とした場合に、通学距離が遠距離となってしまう児童に対しては、通学距離延伸対策を検討してほしいというもの。4点目として、田中北小学校の移転新築とした場合に、田中北小学校の跡地は地域にとって有用な施設として整備することを検討してほしいというものであった。教育委員会としては、学校の新設に当たっては、保護者や地域の皆様との合意形成は大変重要であると認識しており、いただいているそれぞれの御意見は重く受けとめている。特に田



ペタンク

20世紀にフランスで始まった球技で、基点(サークル)から目標(ビュット)に向けて金属製のボールを投げ、相手より近づけることで得点を競うスポーツ

柏市通学区域審議会

本市の小・中学校通学区域の適正化を期するため、教育委員会の諮問機関として昭和41年に設置された

新市建設計画

旧柏市・沼南町のまちづくりの方向性を尊重しつつ、新市の一体性の速やかな確立及び住民福祉の向上等を図るとともに、新市の均衡ある発展を進めるための計画。計画期間は平成17年度から令和6年度まで

コミュニティ交通

民間事業者が公共交通を持続的に運行することが難しい地域等で、その困難を解消するために自治体や地域が関与して運行する交通機関のこと

優良田園住宅制度

農山村地域、都市近郊その他の良好な自然環境を形成している地域(本市では布瀬、手賀、片山の3地域)に所在する一定の基準を満たした一戸建て住宅を「優良田園住宅」として認定する制度

手賀沼周辺地域のまちづくり

Q道の駅しょうなんのブランディング・後継者・新規就農者についてどのように考えているのか。

A手賀沼周辺地域を代表する農業及び地域振興を強く印象づける施設であるべきと考える。拡張後の道の駅が手賀沼周辺地域のエントランスとして、多様な利用がされて道の駅と認知されるよう準備を進める。6次産業化など多様な農業が展開可能となっており、こういった農業のポテンシャルに魅力を感じ、意欲の高い農家を積極的に支援していく。



道の駅しょうなん

発達障害児と保護者への支援

Q発達障害早期発見のためのアセスメントツールや、受け皿、保護者支援についての考え方は。

A平成23年に関係部署と連携し、スクリーニングの精度向上を目指し、1歳6カ月児健診、3歳児健診の問診票の改定を行った。保護者支援では、専門職によ

る研修会、懇談会、個別面談を実施。ペアレントメンター^{知+}についても県では事業を実施しており、今後は制度の活用等の周知を積極的に図る。

災害対策

Qことしの柏市防災訓練はどのように行うのか。

A11月2日に利根川の氾濫を想定した避難訓練を実施予定。今年度から運用を開始した警戒レベル^{知+}による市民への避難情報の伝達など、本市の地域防災計画の改善につなげていく。

Q災害時の避難所におけるペットや盲導犬についてどう考えるか。

A動物が苦手な方やアレルギーをお持ちの方に配慮が必要。盲導犬といった介助犬については、要介助者と一緒に、専用のスペースの中でいられるよう周りに理解を求めている。

ペット同行避難

Q11月2日に行われる柏市総合防災訓練にペット同行避難を入れていただきたい。

A東葛地域の獣医師会の方に、御協力いただき、ペット同行避難用品、備蓄品などのアドバイスをいただくような機会を設ける。

シッターや病児・病後児保育事業なども対象となっている。これらについて、担当する機関や部署と協議しながら準備を進めてきた。

教育支援員^{知+}

Q教育支援員の時給が段階的に引き下げられた。現在はあらゆる業種で賃金の上昇がある。むしろ待遇改善を行うべきだ。具体的には時給を上げるべきだ。

Aその職務内容から教員免許を必要としていないと判断し、任用条件から外し教育にかかわる他の職種の賃金を考慮して引き下げを行った。次年度については、時給単価はほぼ変わらないが、期末手当の支給により総収入の引き上げを行う。

Q有給休暇について、1日という単位でなく、時間で取得できるようにすべきだ。

A臨時職員の年次有給休暇は就業規則

で1日を単位として取得されることになっている。仮に1時間単位の取得を認めた場合、施設やシステム等の連携など複雑な管理体制を整える必要がある。そのための体制整備など課題もあるので、まずは制度を適切に運用していくことを第一条件にして制度が確立したら、その状況を踏まえて、休暇制度について優先的課題として取り組む。

Q今回のことを契機に、簡単に賃金を引き下げることが決まっていられないような形で今後進めていくべきである。

A議員の御指摘のように賃金の引き下げといったことは、当事者にとって大きな問題だ。制度の合理性あるいは、賃金、全体の待遇を向上させるなど、きちんと御納得いただけるような形で今後検討していく。

消費税増税

Q賃金の下落、消費の落ち込みで地域経済は深刻。業者の声を聞き、消費を喚起する市の独自策は検討したのか。

A商店会を回り声を聞いている。課題を把握し、地域経済活性化に努める。

柏駅西口北地区再開発事業

Q住民の意見を反映させる公聴会を開くべきではないか。

A公聴会は都市計画の提案を受けて、法律の手続に基づいて進める。

Q市の補助金・負担金を425億円と試算。市民合意のない支出はやめるべき。

A補助金交付要綱を改正したので、支出の抑制が図られる。

市立病院の早期現地建てかえ

Q病院の老朽化は進んでいる。高齢者の救急対応や災害対応など、機能を十分に果たすため早急な建てかえを求める。

A病院の建てかえには多額の建設費が必要。経営改善に取り組み判断する。

Q市立病院の30年度の収支は。

A1億4,000万円の黒字である。



市立柏病院

生活保護行政

Q市の職員のミスによって保護費が過払いになった場合、返還金を求めることは違法との判決が下されている。司法判断に沿った対応が必要ではないか。

A被保護者世帯の状況を調査し、最低限度の生活の保障など具体的に検討する。

幼児教育・保育の無償化

Q幼児教育・保育の無償化に必要な財源の内訳は。

A元年度は、約15億3,000万円の費用が必要となるが、全額国から補填されるため、実質的な市の負担額は約3億円の軽減となる見込み。2年度は、約40億円で、そのうち市の負担額は約16億8,000万円と見込んでいる。

年金生活者支援給付金制度^{知+}

Q10月1日から新制度がスタートするが、制度の周知徹底と詐欺対策についての市の取り組み状況はどうか。

A日本年金機構が9月初めから対象者に案内文を送付している。本市としては、7月から市のホームページに、9月15日号広報かしわに掲載し、電話・窓口相談にも適切な対応に努めている。

近隣センター

Q今後の近隣センター改修工事の検討状況はどうなっているか。

A次の大規模改修は、高田近隣センターとさせていただく。今後のスケジュールは、年内中に庁内各課の調整と地域の皆

様への御相談をさせていただき、来年度の予算計上を予定している。

免許返納

Q免許返納手続きをより簡便にする方法として、市役所や近隣センターで免許返納の代理受領を行うことはできないか。

A千葉県の場合、県内の各警察署、千葉及び流山運転免許センターで手続きを行うことができる。免許返納は、やむを得ない事情のない限り、本人の直接申請が条件となっているため、市を窓口にした免許返納手続きは難しい状況にある。

信号機の設置

Q酒井根五差路の信号機設置に向けての進捗状況は。南部中学校前に信号機を設置する場合、どのような条件が必要か。

A酒井根五差路については、今年度は横断歩道設置に伴う歩行者用スペースの確保のための測量等を行い、用地取得交渉に入る予定である。南部中学校前については、歩行者の待機場所及び信号機を設置する場所を確保するための地権者との協議と、学校の反対側が松戸市のため松戸市との調整が必要となる。

幼児教育・保育の無償化

Q一時預かり事業や病児・病後児保育事業、ファミリーサポート事業、ベビーシッターなどの利用について本市の対応はどうなっているか。

A無償化は、保育園、こども園や幼稚園に加えて、ファミリーサポートセンター

事業、認可外の居宅訪問型事業、ベビー



幼児教育・保育の無償化

Q「無償化」と言いながら、給食費を利用者から徴収している。給食は保育の一環であり、公費負担とする自治体もある。給食費は市の負担とすること。

A一部の市区町村で、給食費を独自に助成することは承知しているが、原則として国の考え方に基いて実施していく。

Q給食費徴収事務など、保育園の多忙化に対し、どのような支援をしていくか。

A各施設の負担が軽減できるよう、保育士の本来の業務である子どもに向き合う時間を十分に確保できるよう努める。

バリアフリー

Q柏駅南口の階段にエスカレーター、エ

レベーターを設置すること。

A周辺土地活用の動向を踏まえた中で、一体的な改善を検討する。

教育行政

Q猛暑の中、体育館で運動や集会ができなくなっている。災害時の避難所にもなっている体育館にエアコンの設置を。

A優先順位を考えて実施していく。

投票率向上

Q低い投票率を向上させるため、投票所へのバスを運行し、選挙公報は全世帯に配布すること。

A移動支援はほかの関連部署と協議して、今後検討する。選挙公報はポスティングなどで全世帯に配布できるか検討する。

お出かけ応援バス

Q高齢者が日常生活に必要な移動支援をするため、本市に適した制度や施策の推進に取り組んでいくとのことだが、どのような研究、検討が行われたのか。

A公共交通の割引制度は、公共交通が利用可能な方にとっては外出のきっかけになるが、利用しない方は対象とならない側面もある。まずは、利用しやすい公共交通網を整備していく。



ペアレントメンター^{4ページ}

発達障害のある子供を持つ親が、その経験を生かし、子供が発達障害の診断を受けて間もない親などに対して助言を行うもの

警戒レベル^{4ページ}

集中豪雨や台風などによって、水害や土砂災害などの災害が発生するおそれがあるとき、防災情報の意味が直感的に理解でき、それぞれの状況に応じて避難できるよう、災害発生時の危険度と住民が取るべき行動を5段階で示したもの

年金生活者支援給付金制度^{4ページ}

消費税引き上げ分の財源を利用し、年金を含めても所得が低い方の生活を支援するために、年金に上乗せして支給するもの。令和元年10月1日から施行され、初回の支払い(10月分、11月分)は令和元年12月中旬となる

教育支援員^{4ページ}

特別支援学級及び通常の学級に在籍する児童生徒を対象とする生活及び学習の支援を行う人。医療的ケアを必要とする児童生徒に対しては、看護師資格を持つ職員が医療的ケアを含め支援を行っている

ジャンボタクシー^{知+}の拡充

- Q 常盤平駅への延伸はいつ実現するか。
- A ルートの見直しとして予定しており、引き続き松戸市やタクシー協会と調整していく。
- Q 利用料金を100円にしてほしい。せめて、65歳以上は100円にするというの、今後検討していく要素はあると答弁されたが、どうか。
- A 公共交通機関との均衡をとりつつ、受

- 益者負担を勘案し、適正な料金設定としている。
- 補聴器助成**
- Q 障害者手帳のない方は、補聴器を購入する助成がない。保険適用ではないため、全額自己負担である。国に助成制度の創設を求め、加齢による補聴器購入の助成を行う必要があるが、どうか。
- A 現行制度の中で必要に応じて支援する。

- A 1回目の調理は10時半ごろである。
- Q 自校方式では、何時に調理終了か。
- A 小学校で11時半、中学校で12時。
- Q 自校方式のメリットは。
- A 献立の作成などがきめ細やかにでき、でき上がりから食事開始までの時間が短い。
- Q 自校方式へ転換が進まない理由は。

- A 学校敷地内にスペースがないなど。
- 柏駅東口を利用者に使いやすいように**
- Q 改札近くの階段にエスカレーターを。
- A ダブルデッキかけかえ、駅舎の改修にあわせて検討していく。
- Q バス乗り場にベンチを設置してほしい。
- A 設置の可能性を検討する。

日本共産党

くさか こ 日下みや子

国保料の引き下げを

- Q 国保料の財政調整基金^{知+}は幾らあるのか。来年度の保険料は、積み上げられた基金や法定外繰り入れを活用して、せめて子供の均等割額の減免をすべきだ。
- A 現時点での基金の保有額は28億9,688万円である。2年度の保険料負担の増加抑制に基金を活用する。子供の均等割保険料の軽減は国へ要望する。

就学支援の充実を

- Q 入学準備金や就学援助費の増額、制服のリユースが困難な人に渡る対策を。
- A 入学準備金は来年度から5万7,400円に増額される。クラブ活動費と生徒会費は協議する。使わなくなった制服の提供は学校と密に適切な支援に努める。

児童数の増加と学区外就学への対応

- Q 柏三小の児童増加への対応は。
- A 2年度から建てかえ工事に着手。3年度後半から利用できるよう進める。学区

外就学は在校生も兄弟姉妹関係も原則受け入れ可能である。

コミュニティバスの実現と旧沼南対策を

- Q バスの運行のめどは。柏駅から市役所へのバスは優先して。旧沼南対策を。
- A 時期は明示できないが、速やかに実証実験の実施を目指す。柏駅から市役所へのバスよりも空白不便地域を優先する。沼南地域対策はジャンボタクシー^{知+}とカシワニクルを需要に応じた見直しをする。



かしわ乗合ジャンボタクシー

日本共産党

ひらの こういち 平野 光一

地域経済活性化策を直ちに実現せよ

- Q 消費税増税で消費はさらに冷え込んでいく。市長は6月議会で「市内産業の活性化に向けた取り組みを推進したい」と答弁したが、この3カ月間何をしてきたのか疑問だ。日本共産党は住宅リフォームや店舗のリニューアルへの助成制度、高齢者お出かけ応援100円バスの制度など、全国各地の自治体で試され済みの地域経済活性化対策を提案している。真剣に検討し実現することを求める。

- A 消費税増税に伴う個人消費の落ち込みや景気のさらなる後退等を懸念している。他市の先進的な政策については、引き続き調査分析を継続しつつ、本市の地域の実情に沿った地域経済活性化策について検討したい。

「ゾーン30」^{知+}の積極的設置を

- Q 県は「ゾーン30」整備をさらに進め

るとしている。積極的に設置すべきだ。

- A 生活道路が集まった区域に通学路が含まれている場合その整備は有効だと考える。交通管理者から協力依頼があった場合は積極的に協力する。



ゾーン30の道路標示（柏の葉地域）

保育園周辺に「キッズゾーン」^{知+}を

- Q 国は保育園などの周辺に「キッズゾーン」創設を打ち出した。市の方針は。
- A 先行して開始した大津市の事例や国の動向などを注視しつつ、県警等に危険箇所改善などを要望していく。

みらい民主かしわ

すずき せいじょう 鈴木 清丞

小学生の通学路に関して

- Q 30分以上歩いて小学校へ通うことは何人いるか。
- A 教育委員会としては調査していない。
- Q 手賀の杜地区からの小学生は何人か。
- A 563名であり、登校までの時間は最大で45分との報告を受けている。
- Q 45分徒歩は距離で2.5 km。柏駅か

ら北柏駅までの距離と同じだが、通学路の安全確保はどうなっているか。

- A 関係機関等とさまざまな面での安全性に配慮した対策に取り組んでいく。

沼南地区の給食センターに関して

- Q 給食を1回で調理できているか。
- A 1日に2回調理している。
- Q 1回目の調理が終わる時刻は。

みらい民主かしわ

かみはし いずみ 上橋 泉

続発する職員の不祥事について

- Q 市長は議会冒頭の市政報告で、「このような不祥事が続いている事態を極めて重く受けとめている」と述べたが、不祥事の続発について何が原因なのか内部で検討されたか。その調査分析がなされていないとすると、類似の不祥事が表に出て来るだろう。原因の調査分析を行う考えはあるか。
- A 職員の公務員としてのモラルが低下していると強く感じている。これまでも全職員に対し、法令遵守及び綱紀粛正の徹底について指導してきた。このたびの不祥事については、再発防止の徹底を含め、全職員が一丸となって市民の信頼回復に

- 努めていく。
- Q 私は本多市長時代16年を見てきた。秋山市長の市政も10年見てきた。スタイルが違う。本多市長は上から目線だと批判を浴びたが、ずっと市役所において職員を管理監督しておられた。市長の職務で一番重要なのは、3,000人の職員を管理監督指揮することだ。市民の間に出て行くことより重要だ。秋山市長は市長室にいる時間が短いということを聞く。上から目線でいいから、市役所にどんと構えて職員を厳しく監督してほしい。
- A マネジメント系のスタイルに関しては指摘のようなやり方もある。その部分に関して、検討して努力してまいりたい。

みらい民主かしわ

はまだちかこ 浜田 智香子

女性特有のがん患者の妊孕性温存^{知+}

- Q AYA世代（15歳から39歳くらいまでの年代）のがん患者が増加している。がん治療に対する市の取り組みと、治療と並行で行う妊孕性の温存に莫大な費用がかかることに対して助成金制度を提案したいが、いかがか。
- A 専門職の育成も含め、がん治療連携拠点病院と情報共有し、取り組んでいきたい。助成金制度については、近隣市の状況など踏まえ今後調査をしていく。

公共交通空白地域への対応

- Q カシワニクルの日曜日や大型連休の運行はできないか。
- A 日曜日については運行していないが、大型連休等は日常の買い物の足の確保が行き届かないということも考えられるため、検討していく。

児童相談所について

- Q 柏市立児童相談所としての独自性はどのいった部分と捉えているか。
- A 市が持つ情報量や地域資源のネットワークは県にない市の強みであると認識している。

子育て支援について

- Q 育児中の母親の孤独、過重負担を軽減するための父親へのサポートも含めた対策はどうか。
- A 父親も参加できる企画や情報発信をSNSなども活用して推進していく。



（写真はイメージ）

みらい民主かしわ

おかだ ちか 岡田 智佳

公契約の適正化の実現

- Q 企業の経営悪化や労働条件の低下、公共サービスの低下を招かないよう、幅広い業種を対象とした公契約条例が必要だと考えるが。
- A 自治体で取り組むより、法律として制定することで効果があると考えている。

大津ヶ丘市民プールの改修工事

- Q 2年間も休場しているが、難しい工事ではないと聞いている。プールの廃止の時期を早める検討をしているのか。それであれば、市民に正しく説明し納得してもらう必要がある。市民を置き去りにした政策は、あってはならないと思う。
- A 2036年以降の廃止としていたが、こ

の機会に廃止時期を見直している。市民の意見を伺った上で方針を決定していく。

保育士の処遇改善

- Q 市内の公立保育園で働く職員から、勤務条件及び設備面の改善の要望が挙げられている。保育士確保には、まず足元の職場環境を見直すべきではないか。
- A 実現可能な課題には、前向きに対応し、保育士が働きやすい環境、体制づくりに努めていく。

手賀の杜の子供たちの通学路の安全対策

- Q 45分かけて通う児童がいる。せめて安全対策を最優先して行ってほしいが。
- A 少しでも安全を確保できるよう対策を検討する。



ジャンボタクシー

5人から9人の乗車が可能なタクシーで、ワゴンやワンボックスの車両が使われている。本市では、「かしわ乗合ジャンボタクシー」があり、主に自家用車を利用しない方の日中の移動手段を確保し、「全市民的移動のしやすさの向上」を目標として運行している

財政調整基金

自治体における、景気の変動や国の制度改革による収入の減少、災害などの突如の支出に備えるための基金

ゾーン30

生活道路における歩行者や自転車の安全を確保するため、幹線道路に囲まれた一定の区域の道路を最高速度時速30kmの規制をするほか、路面表示を整備して、通過交通や速度の抑制を図る。本市では柏の葉やしいの木台で実施されている

キッズゾーン

未就学児が日常的に集団で通行する経路の安全を守るため、歩道の拡充を図ったり、車両の通行を規制したりする地帯のこと。主に保育所などの周辺が対象となる

妊孕性の温存

がん患者に対して妊娠・出産の希望を残せるようにするため、治療前に、受精卵や卵子・精子、場合により卵巣の組織を採取して凍結保存することで、妊孕性（妊娠するための力）を温存し、将来それを用いて妊娠・出産すること

柏愛倶楽部

さとう ひろし
佐藤 浩

犬猫殺処分ゼロについて

Q ペットの殺処分ゼロを掲げる自治体もふえ、2017年オープンの宮崎市の動物愛護センターは殺処分施設自体を持っていない。神奈川県は犬の殺処分ゼロを平成25年から、猫の殺処分ゼロを平成27年に達成した。埼玉県、東京都も殺処分ゼロを目指している。本市のペット殺処分ゼロについての考えはどうか。

A 動物愛護ふれあいセンターにおける犬



動物愛護ふれあいセンター

及び猫の殺処分ゼロに対する考えと取り組みについては、保護・収容される全ての動物を命あるものと重く受けとめ殺処分ゼロを目標に、できる限り多くの動物に生きる機会を与えられるように努めているところである。飼い主のいる動物は、できるだけ速やかに返還し、譲渡適性のある動物は里親への譲渡を推進している。

そごう柏店跡地について

Q そごう柏店閉店という大型商業施設の撤退に、中心市街地全体の求心力低下が懸念される。跡地はどうかになっていくのか。

A 平成28年9月末で閉店してから3年がたとうとしている。三井不動産株式会社が権利の取得に向け、一部の地権者との交渉を継続中と聞いている。今後も商業施設中心の再活用を働きかける。

柏愛倶楽部

すえなが やすぶみ
末永 康文

入札制度

Q 100%入札が秋山市長になってからたくさんある。建築ではほとんどが99%以上になっている。なぜか。

A 公共工事への依存度が低いため、落札率が高くなる傾向にある。

Q 道の駅拡張整備で工期の変更が5月9日にあり5月10日には前渡し金が払われている。工事がいつ着手できるのかわからないのに1億3,150万円が払われている。精査をすべきだ。

A 前払金並びに管理事業者に対しても支払いは妥当だと考えている。

市立病院

Q 病床稼働率が経営状態に影響がある

ので、それを見きわめた上で、市長一人の判断で決めるのか。

A 経営の改善をしてから建てかえなければ市民の理解を得られない。総合的に判断をしながら専門の方の御意見などを聞く。

Q 市長は移転は考えていない。経営状態がうまくいけば現地建てかえということか。

A 経営体制の確立など公社と協力し合っ

て進めている段階である。

Q 今まで自分で決めると言ってきた。自分の言ってきたことに責任を持つべきだ。医師の確保が重要だと言っているが市長自身確保について努力しているのか。

A 日常的に院長や医局が対応している。

柏愛倶楽部

やました ようすけ
山下 洋輔

これからの本市の図書館のあり方

Q 駅前に図書館の窓口を設置しては。

A さまざまな角度から研究したい。

Q 各分館にコミュニティ司書を設置し、地域に根づいた運営をすべきでは。

A 地域の情報拠点となるよう努めたい。

Q 図書館による学習支援を行っては。

A 科学イベントなど、本を活用した学びや居場所を提供していきたい。



(写真はイメージ)

学ぶ機会と豊かな経験を保障する放課後

Q 部活動が縮小される中、地域での活動

の場をどのようにつくっていくか。

A 関係機関と連携して進めていく。

Q スケボーパークやバスケットコート、eスポーツ^{知+}など、子どもの居場所と異世代交流の場づくりを進めてはどうか。

A 実態を分析し、見きわめていきたい。

Q 子どもと地域のつながりが学力格差に影響するが、子どもの放課後は縦割り行政の中で、漏れてしまっていないか。

A 気をつけて対応していきたい。

マンション防災問題と減災対策

Q どのように進めていく方針か。

A 講習会などで周知していきたい。

オープンデータ^{知+}と選挙投票結果の公開

Q 年代別投票率を公開してはどうか。

A 公開していきたい。

戸張交差点の拡幅工事

Q 整備進捗状況はどうか。

A 用地を確保次第、工事を実施する。

市民サイド・ネット

まつもと ひろみち
松本 寛道

市立病院の建てかえ

Q 上越地域医療センター病院では3カ所

の候補地の中から現在地での建てかえを決めたが、病床は200床未満を選択し

ている。医療費の点数に差が出るので、病床数の検討をすべきではないか。

A 199床以下の病院は外来診療や在宅医療の分野の点数が手厚くなっている。制度が変わっているので検討する。

手賀沼の外来生物と生物多様性

Q 手賀沼に外来生物のナガエツルノゲイトウ^{知+}が広がっている。葉や茎のかけ



ナガエツルノゲイトウ

らからでも成長し繁殖するため、一度繁殖域が広がると抑えることが困難になる。どのように駆除を行うのか。

A 千葉県では平成30年に手賀沼水循環回復行動計画を改定し、湖沼における外来水生植物対策事業を開始した。

柏ビレジ水辺公園のアオコ対策

Q 長年にわたり夏場にアオコが発生し、景観の悪化や悪臭などの問題が起きてきた。どのように水質改善を図るのか。

A 池の下流側に堆積した土砂の清掃を行い、水位を下げた。今後は雨水により水の循環が促され水質改善が期待される。

Q 井戸水が水質悪化の一因としているが、井戸水を止めたことで余計に水が滞留しているのではないか。

A 平成29年はアオコレベルが5だったが、翌年は4になり一定の効果があった。

市民サイド・ネット

はやし さえこ
林 紗絵子

公共施設の減災対策

Q 公共施設のガラス飛散防止、家具転倒防止はどうか。公共施設の統一的な減災対策指針が必要ではないか。

A 学校の体育館や保育園では強化ガラスや飛散防止フィルムで対応しているが、校舎や市庁舎、こどもルームでは一部しか対応していないなど、対策にばらつきがある。統一的な基準をつくりたい。

不登校

Q 学校へ戻すための不登校支援は見直しを。適応指導教室きぼうの園のリーフレットもその方向に改めるべきではないか。

A リーフレットは今年度中に見直す。不登校の増加に対してすぐに学習相談室を

増設することは難しいが、検討する。

Q 不登校支援や進路指導関連資料など、必要とする子どもと保護者に、確実に情報提供を行える仕組みが必要ではないか。

A 連絡方法や窓口の設置を検討する。

Q 私学の子どもも受け入れるべきだ。

A 今後検討していく。

プラスチック削減

Q 越谷市のように、会議やイベントでのペットボトル飲料の配布を禁止し、環境省のプラスチック・スマートキャンペーン^{知+}に参加すべきではないか。

A 職員が率先して課題の解決に取り組むことは有効な手段と考えている。現在の施策の検証をもとに取り組んでいく。

無所属

うちだ ひろき
内田 博紀

市長の政治姿勢について

Q 緑地保全のための十分な対策は何か。

A 緑地保全に関し、防災面や動植物の生息状況などのさまざまな指標から、そのあり方について検討を進めており、元年度中に柏市緑の基本計画の改定を完了する予定である。



リーフレット

児童相談所開設について

Q 児童相談所開設に当たっては、こども部の機能を統合してはどうか。

A 柏市立児童相談所設置に関する懇談会においても、多くの来所者が訪れる開放的な施設のほうが相談しやすく、ふさわしいとの意見をいただいたところである。児童相談所の組織体制や施設機能等については、今後の児童相談所や一時保護所のあり方の検討において、いただいた意見や先進事例などを踏まえながら、児童相談所の機能を効果的に発揮できる施設となるよう引き続き検討する。

無所属

きたむら かずゆき
北村 和之

広報かしわ、選挙公報の全戸配布について

Q 情報公開の観点からも全戸配布をすべき。一日も早く全戸配布に切りかえ、柏市民の利益になる情報や、ときには本市の課題などを積極的に伝えていくことが、市民の利益や本市の力となると考えるがどうか。

A 現在新聞購読世帯には新聞折り込みを、新聞未購読世帯のうち配布を希望する世

帯には宅配を行っており、配布率は約75%である。課題としてはコストや情報の速報性などがある。広報かしわなどは市民の皆様へ情報をお伝えする手段として大変重要であり、議員指摘のとおり、読もうが読まないが全市民にまず届ける姿勢は大事だということは重く受けとめる。全市民の皆様へ情報を到達させるといった視点で検討していく。



eスポーツ⁶

エレクトロニック・スポーツの略。広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称

オープンデータ⁶

自治体が保有する公共データが、市民や企業等に利活用されやすいように機械判読に適合した形で、二次利用可能なルールのもとで公開されること、また、そのように公開されたデータのこと

ナガエツルノゲイトウ⁶

特定外来生物に指定されている繁殖力の強い多年草の一種で、生態系を脅かすだけでなく、洪水時には河岸から引き離され、下流にある排水施設の排水運転が困難になるなど、暮らしの安全にも深刻な影響を与えている

プラスチック・スマートキャンペーン⁶

世界的な海洋プラスチック問題の解決に向けて、個人・自治体・NGO・企業・研究機関など幅広い主体が連携協働して取り組みを進めることを後押しするため、平成30年に環境省が立ち上げたキャンペーン